

ごみ袋等の手数料の改正について

費用に占めるごみ袋代（廃棄物処理手数料）は、平成16年度の処理費用（150円程度）の3分の1（33.3%）を想定し、廃棄物処理手数料（大1袋50円）を設定した。今年度は手数料の見直しを全庁的に実施しており、ごみ処理費用（廃棄物処理費用）が増加傾向にあることから見直しも含めて検討した。

処理費用が増加した要因として、収集運搬費が平成17年度の笠原町との合併により処分場が増えたことによる費用の増加、また中間処理等の費用については、ごみ量の増減よりもコークスや燃料等にかかる費用が市況により増減した影響が大きい。

市民のリサイクル意識向上により、一人一日当たりのごみ量は減少し資源化も進んでおり、ごみ処理費用が変わらないとしても、ごみ量自体が減少傾向にあることから、大1袋当たりの処理費用は増加してしまう結果となっている。市民の減量努力に応える意味でも現段階でのごみ袋の値上げは適切でないとする。

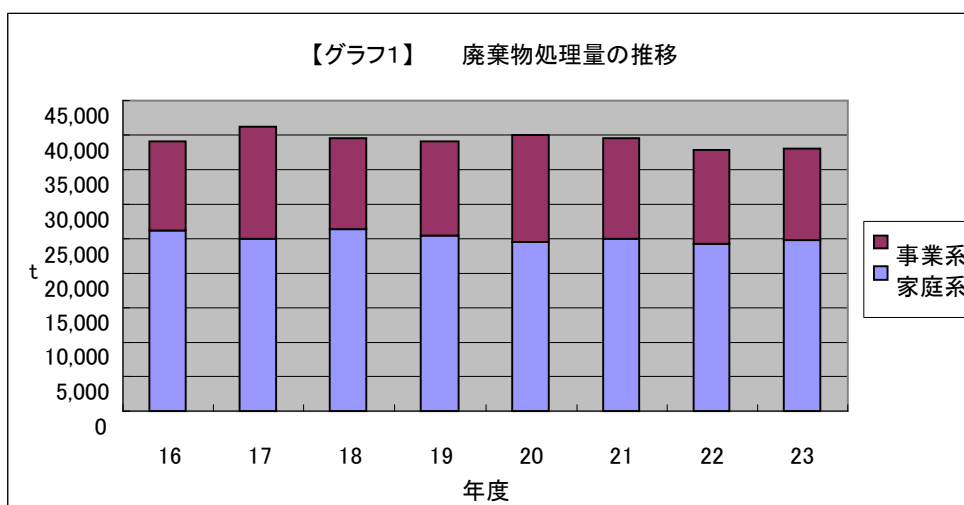
なお、事業所の廃棄物処理手数料が現在1/2程度となっているが、その料金についてご意見を伺いたい。

（参考）廃棄物処理手数料の増加理由（イメージ）

$$\frac{\text{ごみ処理費用}}{\text{ごみ量}} = \text{廃棄物処理手数料} \Rightarrow \frac{\text{ごみ処理費}}{\text{ごみ量}} \rightarrow = \text{廃棄物処理手数料} \nearrow$$

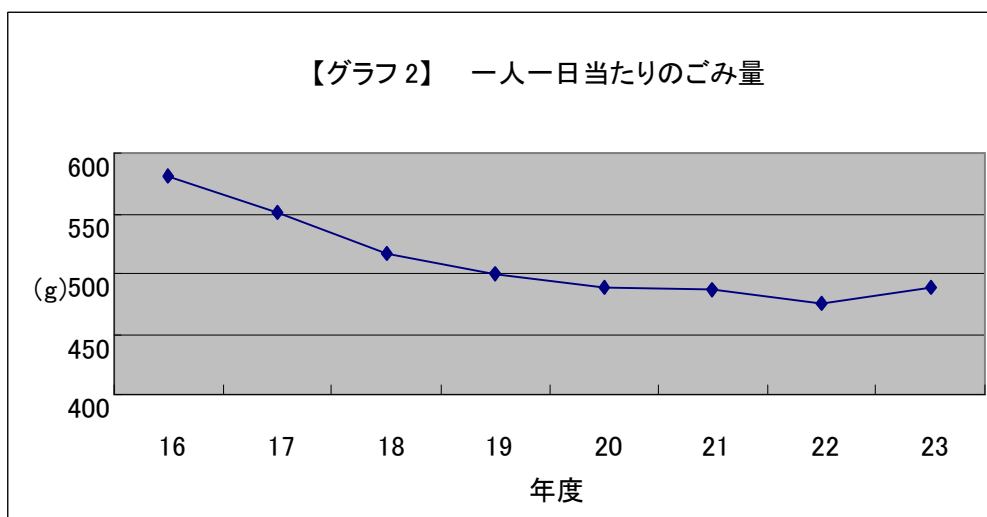
1. ごみ処理量の推移

平成17年7月に廃棄物処理手数料の値上げを行い、平成17年度をピークにごみ処理量は毎年度減少傾向にある。ただし、平成23年度は前年度より処理量が増加した。考えられる要因としては、9月20日の台風15号の水害ごみの処理による増加が考えられる。



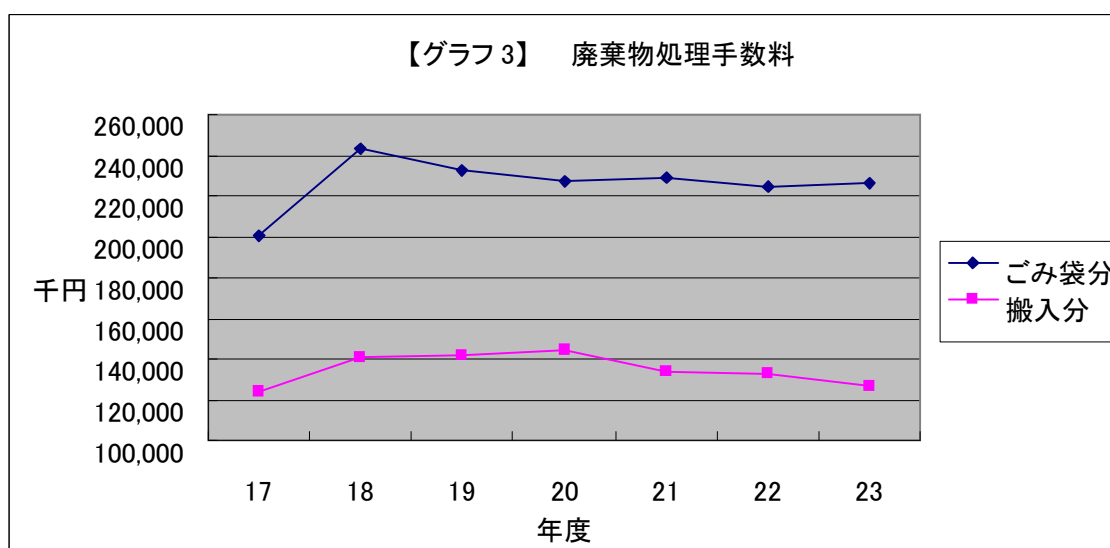
2. 家庭ごみ収集量と一人一日当たりの排出量

平成17年7月に廃棄物処理手数料の値上げを行い、一人一日当たりのごみ量は毎年度減少傾向にある。ただし、平成23年度は前年度より増加した。考えられる要因としては、9月20日の台風15号の水害ごみの処理による増加が考えられる。



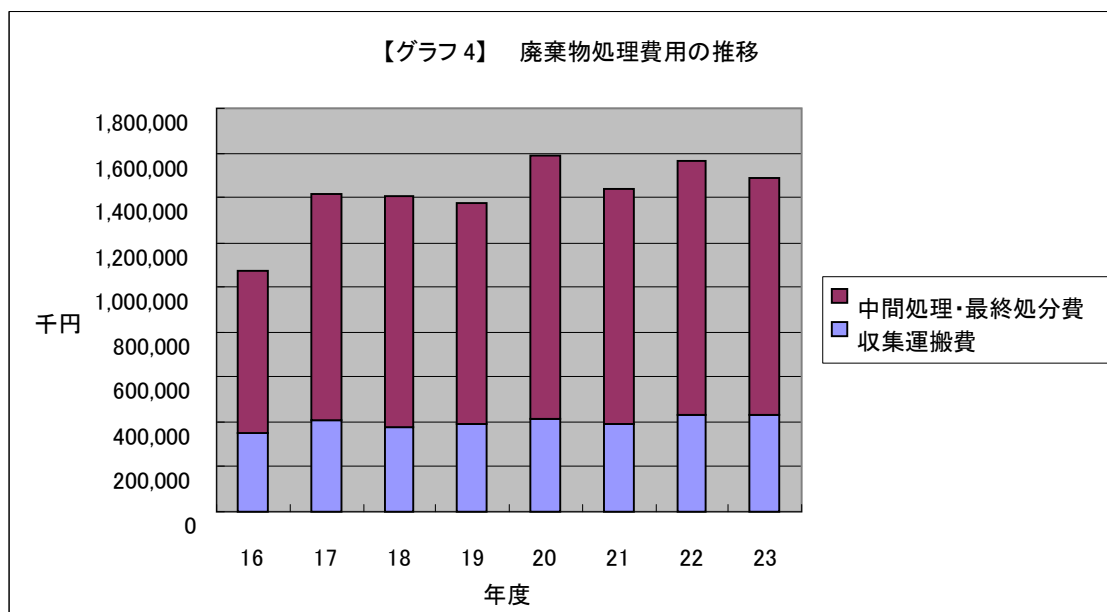
3. 廃棄物処理手数料収入

平成17年度7月に、廃棄物処理手数料の値上げを行い、ごみ袋の販売量は平成18年度をピークに減少している。事業系の搬入分は、平成20年度をピークに減少している。



4. 廃棄物処理費用の推移

廃棄物処理費用は、平成17年度に笠原町との合併で収集運搬費が微増している。全体的には増減を繰り返しているが、その要因として焼却施設での、コークスや燃料等にかかる費用が市況により変化することが大きいと考えられる。



5. ごみ袋（大）：1袋当たりの処理費用

全体としては増加傾向にある。

区分	17	18	19	20	21	22	23
収集費用	69.55	65.55	70.52	77.28	71.71	81.47	80.50
処理費用	96.78	98.72	100.19	110.54	101.25	111.96	102.86
費用合計	166.34	164.27	170.71	187.82	172.96	193.43	183.36
家庭系ごみ1トン当たりの処理費用	36,160	35,710	37,110	40,830	37,600	42,050	39,860
事業系ごみ1トン当たりの処理費用	21,040	21,460	21,780	24,030	22,010	24,340	22,360

廃棄物処理手数料

(単位:円)

区分	手数料	備考
ごみ袋(大)	50	1袋あたり
〃(中)	33.3	〃
〃(小)	20	〃
搬入(家庭系)	100	20kgあたり
搬入(事業系)	200	〃 (1t当たり:10,000円)

